

平成 24 年 2 月 21 日

お客様各位

富士電機株式会社
放射線システム統括部営業技術部

『食品放射能測定システム』製品の改良についてお知らせ

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

先般、厚生労働省より「食品中における放射能濃度についての新基準」が発表されました。これを受けて、現在弊社製品（型式：NMU 1 1 / NMU 1 2）を御使用頂いておりますお客様に対し、下記のとおり製品の改良を実施します。

敬具

記

- 項 目：①本体内上部検出部に鉛シールド追加（約 7 mm 厚）
②本体内下部検出部に鉛シールド追加（約 1 0 mm 厚）
③下部検出部横側ローラ下に鉛シールド追加（約 1 0 mm 厚）
④本体ファームウェア更新（V e r 3 . 0 1）
⑤本体画面ソフト更新（V e r 3 . 0 1）
⑥専用アプリケーションソフト（P C ソフト）更新
- 内 容：①②③項目は、バックグラウンド（B. G.）影響の低減
④⑤項目は、ヨウ素の判定有無の選択機能追加、サンプル測定モードの追加（* 1）
⑥項目は、W i n d o w s 7（6 4 B i t）対応、精密測定時の検出限界値表示、C S V ファイル出力機能の追加、測定データの削除機能追加、サンプル測定モードの対応、核種補正值の表示機能追加
（* 1 サンプル測定には別途サンプル測定キット（オプション）が必要になります。）
- 費 用：追加部材費、現地取り付け調整作業とも無償
- 時 期：2 0 1 2 年 2 月 下旬より順次実施予定
（追加部材等の準備が出来次第、弊社よりご連絡いたします。）
- 備 考：今回のバージョンアップは製品の性能向上を目的としており、新基準の対応を保証するものではありません。
今後、現在の測定時間を変更（全数測定を約 3 0 秒、精密測定を約 5 分 3 0 秒）してより多くの測定条件で検出限界値を全数測定で新基準値以下、精密測定ではスクリーニング測定に対応できるよう改良を実施する予定です。

以上